

# 富 了 ろ

【 第 2 5 7 号 】

発行 R 4 . 9 . 1 2

東海市立富木島小学校

TEL 052-601-5311

ホームページ



富木島小

検索

## 様々な楽しみを見つけ「自分から」の2学期にしていこう!



新学期がスタートして1週間以上が経ちました。毎日各学級の様子を見て回っていますが、やっぱり子どもの姿がある学校っていいなあ、と楽しみ思っています。ふきしまっ子たちが“自ら学ぶ”“行いで示す”“体を鍛える”姿をたくさん発揮できる2学期になるよう教職員みなで、よく視る、よく聴く、よく寄り添うで、ともに歩んでまいります。

思い起こすと、1年前の夏休み明けは、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大防止のための緊急事態宣言が出されていて、かなりの緊張の中でのスタートとなりました。今回の夏休み明けは、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置は発表されていないものの、新規感染者数とその当時よりも多い状態であり、「BA.5対策強化宣言」が出されています。新型コロナウイルス感染症の特性やその対応について、社会全体で理解が進み「Withコロナ」の生活となっていますが、感染予防の意識をみんなで高く保って、予防の基本を丁寧に確実にしていきたいと思います。

保護者の皆様には、お子さんの毎日の検温や健康チェックをはじめめとして、お子さん本人やご家族に発熱・咳・のどの痛み等のかぜの症状や倦怠感がある場合には、登校の見合わせをするなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止へのご協力を引き続き、よろしくお願いいたします。



2学期の始業式には式辞として、様々な行事や毎日の学校生活を通しての「思い出づくり」についてのお話と次のようなお話をしました。

2学期のスタートにあたり、先生からみなさんに質問です。

「これまでの学校生活で“わくわく”したことにはどんなことがありますか。」



実は、わくわくして楽しさを感じているときって、人の頭（脳）はとってもやる気になっているようで、楽しくて「面白い」と感じたことは脳に記憶されやすいそうです。楽しみながら学んだことほど身につくという研究報告もたくさんされています。

そこで、この2学期がみなさん一人一人にとってより充実したものになるように、学校生活のいろいろな場面で、楽しさ・楽しみを見つけ、様々な活動に取り組めるといいな、と思います。どんな楽しさがあるでしょう。学校教育目標の3つの姿から、その楽しさの一部をみてみましょう。

「自ら学ぶ」では、「できた」や「わかった」など『自分の成長を感じられる楽しさ』や「みてみて」「聞いて聞いて」など『自分の発見や気づきをしってもらえる楽しさ』



「行いで示す」では、「ありがとう」「うれしいな」など『感謝し感謝されるなど、人との関わりが喜びになる楽しさ』

「体を鍛える」では、『自分の思ったように体を動かせることを味わえる楽しさ』『体を動かすことで気持ちやすっとする楽しさ』がパッと思い浮かびます。

その楽しさを感じる心が、その時々での取り組みによる学びをより豊かにし、学んだことをみなさんの身となるものとしていきます。

自分自身の成長を思う存分味わえる2学期にしていきたいと思います。

「様々な取り組みに楽しさを見つけだすこと」。『日々是成長』のみなさんが学びをより豊かにするヒントになると信じてお話をしました。

この2学期も、みなさんの成長の姿を目にできることをとても楽しみにしています。

心から納得のいったことや新たな気づきを自然と誰かにお話したくなるのは子どもも大人も同じだと思います。その時にしっかりお話を受けとめ合うことができるように、これからは日頃の何気ない会話（聴くことだけでなく、自分のことを話すことも）を大切にしていきたいと思います。



## バスでお出かけの校外学習の予定



1年生 9月22日(木)  
東山動物園

2年生 9月30日(金)  
南知多ビーチランド

3年生 10月14日(金)  
三州足助屋敷

あおぼ 9月22日(木)  
ガスエネルギー館  
大池公園

4年生 9月28日(水)  
木曽三川公園

5年生 12月15日(木)  
ジブリパーク

6年生 11月22日(火)  
リトルワールド



授業で学ぶ(学んだ)ことを体験するとても大切な機会です。体験を通して新たな発見や学びの深まりがたくさんあることと思います。「なるほど」「わかった」「どうしてかなあ」をたくさん味わえること、みんなとともに学んだことが思い出となることを楽しみにしています。また、校外学習から帰ってきて、ふきしまっ子みんながお家で自然に「今日ねえ…」とお話したくなる素敵な体験をしてきてくれたら、と心より願っています。

## 小学生親善交流事業(釜石市)で学んだこと



釜石市キャラクター  
「かまりん」

8月24日(水)から26日(金)の2泊3日で、富木島小学校を代表して2名の6年生が東海市の親善交流団員として釜石市の方々(釜石小学校の6年生の子たちとも)と交流し、たくさん学んできてくれました。その学びを代表の2名が本日(9月12日)の朝会でふきしまっ子みんなに伝えてくれました。保護者の皆様にもご紹介させていただきます。ぜひとも、お家で話題にしてみてください。

6年1組の神野彩斗と、6年1組の豊田明彩です。私たちは、岩手県釜石市に親善交流に行ってきました。そこで、学んできた事を発表します。岩手県釜石市と愛知県東海市は共に「鉄の町」なので、姉妹都市になっています。釜石市では、東日本大震災という大きな災害がありました。そこでは、多くの死者・行方不明者がでました。その東日本大震災では、どのような事が起きたのかをたくさんの人に知ってもらうために「命をつなぐ未来館」という場所があります。そこでは、たくさんの資料や流されてしまったものが置いてありました。外には、犠牲になってしまった方の名前が刻み込まれていました。

次に、僕たちが泊まった旅館のおかみさんは実際に東日本大震災を経験した方で、その当時に登ったという避難道に案内してくれました。とても険しい道だったので登るのが本当に大変でした。東日本大震災ではたくさんの方の命が犠牲になってしまいました。この地域にも、大きな地震や、大きな津波がくるかもしれないのでこれからもしっかりと避難訓練に取り組みたいと思いました。最後に、僕たちが行った場所を紹介します。

(5つの場所を写真を使って紹介してくれました。上から順に[命をつなぐ未来館][釜石小学校][釜石鶴住居復興スタジアム][鉄の歴史館][宝来館]です)

親善交流で学んできた事をいかして、これからも、学校生活を送っていきたいです。これで発表を終わります。

